

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2015年2月）議事録

日 時：2015年2月20日(金) 午後5時30分～7時00分

場 所：AP東京八重洲通り Fルーム

議 長：下光輝一理事長

出席者：下光輝一、荒尾 孝、碓井外幸、小野寺昇、
勝村俊仁、川久保清、川原 貴、栗原 敏、
坂本静男、定本朋子、鈴木政登、武政 徹、
竹森 重、田中喜代次、永富良一、西平賀昭、
浜岡隆文、福永哲夫、吉岡利忠（各理事）、
小林康孝（監事）、
管原正志（第69回大会長・長崎）、
伊藤倫之（第70回大会実行委員長・和歌山）、
小山 薫（第71回大会事務局長・岩手）

欠席者：大野 誠、下村吉治、田中宏暁、田畑 泉、
鳥居 俊、山内秀樹（各理事）、
能勢 博（監事）

【審議事項】

1. 前回議事録の承認

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出ていただくこととし、理事会終了後に承認とすることとした。

2. 持ち回り理事会議決事項の確認について (小野寺総務委員長)

1) 選挙管理委員会構成（2014年11月27日開催）

前回理事会で承認済みの選挙管理委員会構成について、一部変更があり、再度持ち回り審議した結果、下記の通り承認された。

委員長：西平賀昭

委員：坂本静男、定本朋子

2) 各種委員会規程の文言整理

(2014年12月16日開催)

配布資料に基づき、前回理事会で指摘のあった各種委員会規程の文言の統一について、下記の委員会規程の改定が承認された。

総務・編集・学術・スポーツ医学研修会実行・称号・プロジェクト研究・財務・プログラム・渉外・倫理・将来構想検討・広報・男女共同参画推進・ガイドライン検討、以上計14委員会

3) 脳心血管病予防に関する包括的リスク管理チャート ver.11.3（2015年1月22日開催）

持ち回り審議を行った「脳心血管病予防に関する包括的リスク管理チャート」について、特に異議なく承認されたことが報告された。意見がある場合は、取り纏めをしている永富渉外委員長に報告することとした。

3. 大塚スポーツ医・科学賞選考規定について (小野寺総務委員長、吉岡理事)

前回理事会で継続審議となっていた大塚スポーツ医・科学賞選考規定案が提示され、前回から特に変更点はなく、特別賞・奨励賞ともに本学会の選考委員が選考する事で先方と合意が出来たと報告があり、審議の結果、承認された。

また、大塚製薬株式会社様には本学会の賛助会員と

して入会いただくよう、勧誘を行うと報告された。

4. 理事会日程について（小野寺総務委員長）

今後の理事会開催のスケジュールが確認された。

◎2015年5月15日(金)、◎2015年8月28日(金)、

◎2015年9月17日(木) ※第70回和歌山大会前日

9月社員総会以降の理事会日程については、新体制になってからとなる事が報告された。

5. 日本体力医学会健康科学アドバイザー新規申請者について（碓井称号委員長）

日本体力医学会健康科学アドバイザーの新規申請者2名の氏名リストが提示され、承認された。

6. 各種委員会規程について（小野寺総務委員長）

評議員選考委員会規程・利益相反委員会規程が各委員長より新規作成され、他の委員会規程と文言の統一を行った各委員会規程が提出された。審議の結果、2つの委員会規程が新たに承認された。

7. 医学中央雑誌刊行会「医中誌Web」への収録について（鈴木編集委員長）

医学中央雑誌刊行会より「貴刊行物に関する著者抄録利用許諾のお願い」の資料が届いたと報告があり、もし契約をした場合には、年間12万円ほど学会に入金があると説明がなされた。編集委員会内で検討した結果、学会の負担はなく、特に断る理由はないため契約を結びたいと提案があり、審議の結果、承認された。

8. 名誉会員推薦および内規について (小野寺総務委員長)

総務委員会が推薦委員会として名誉会員推薦内規に沿って検討した結果、下記3名の候補者を名誉会員に推薦したいと提案がなされ、審議の結果、9月の評議員会で理事会から推挙する事が承認された。後日、候補者に連絡を取り、内諾を取る手続きに入ると説明がなされた。

また、名誉会員推薦内規について、現在の定款に沿って「第9条第2号」を「第7条第2項」に一部改定することが承認された。

名誉会員候補者

・小林寛道（東京大学大学院新領域創成科学研究科生涯スポーツ健康科学研究センター）

・福永哲夫（鹿屋体育大学）

・吉岡利忠（弘前学院大学）

9. 役員選挙スケジュールについて（小野寺総務委員長）

配布資料に基づき、役員選挙スケジュールが提示され、承認された。今後の選挙に関する業務は選挙管理委員会が引き継ぐこととなった。

10. 大会決算の残金の扱いについて

(管原第69回大会長)

大会決算に関する進捗状況報告がなされ、いくらか

余剰金が出る見込みであると説明がなされた。大会に関して長崎大学の施設利用料の一部については、本来であれば費用が発生するものも借りていたが、長崎大学の規程に無いものがあったため、長崎大学に施設利用料相当分を長崎大学へ寄付を行いたいと提案がなされ、審議の結果、承認された。

また、長崎大学への寄付以外の余剰金については学会本部へ返金する旨、報告がなされた。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 総務委員会（小野寺委員長）

2017年愛媛大会の大会長を今後検討していくと報告があった。

2) 編集委員会（鈴木委員長）

・COIについて

企業から研究費をもらっている研究で、共同著者にその企業の方がいる論文が投稿されたと報告がなされた。編集委員会で検討した結果、COIを全て開示するという事で論文の透明性が保たれると判断し、査読を進めると報告がなされた。

・投稿状況について

JPFISMの投稿状況について、2014年9月1日～2015年1月31日の期間で13編の投稿があり、チェコ、スロバキア、タイ、イラン等の国から投稿があったと報告がなされた。

・JPFISM誌Vol.4-1について

3月25日発行のJPFISM Vol.4-1は招待レビューが10編、ショートレビューが3編、ピアレビューを経て掲載されるオリジナル論文3編と報告がなされた。オリジナル論文は5～6編の掲載を目指しているため、JPFISMへ投稿をしていただいたと依頼がなされた。

3) 渉外委員会（永富委員長）

・ACSM参加助成について

学会HPで募集をしているアメリカスポーツ医学会の参加助成制度の募集締め切りが2月28日までと報告がなされた。

・健康日本21推薦全国連絡協議会の運動・スポーツ分科会について

2月18日に健康日本21推進全国連絡協議会の

運動・スポーツ分科会に参加したと報告があり、他学会と話し合いの機会が出来たので、今後他学会との連携を進めていきたいと報告がなされた。

・和歌山大会での国際交流事業について

今年もECSS受賞者を招待し講演を行うと報告がなされた。

・ECSSシンポジウム企画について

今回の申請に関しては渉外員から福典之先生に打診し申請を行った旨、報告がなされた。

4) 広報委員会（武政委員長）

学会HPの英文化を進めており、役員・歴代大会長のページがほぼ完成し、まずは掲載を進め、修正があれば随時更新を行っていく旨、報告がなされた。

5) プログラム委員会（荒尾委員長）

8月に開催される日本スポーツ体育健康科学学術連合のシンポジウムで学術委員会と共同提案で東京オリンピックに向けたテーマのシンポジウムを提案した旨、報告がなされた。

6) 評議員選考委員会（吉岡委員長）

学会誌に今年も評議員募集のチラシを同封し、広く評議員を募集する旨、報告がなされた。

7) ガイドライン検討委員会（川久保委員長）

禁煙宣言については作成中である旨、報告がなされた。

2. 第70回（和歌山）大会の進捗状況

（伊藤第70回大会実行委員長）

大会の準備状況等について報告がなされた。

会期：2015年9月18日（金）～20日（日）

会場：和歌山県民文化会館、ホテルアバローム紀の国

3. 第71回（岩手）大会の進捗状況

（小山第71回大会事務局長）

大会の準備状況等について報告がなされた。

会期：2016年9月23日（金）～25日（日）

会場：マリオス、アイーナ

4. その他

1) 各種委員会規程について（碓井理事）

各種委員会規程の「かっこ」ありや、「かっこ」なしの表記の統一が崩れてきているため、全委員会の規程を統一した方が良いと提案がなされた。

2015年米国スポーツ医学会 (American College of Sports Medicine: ACSM) 参加助成制度 参加助成対象者の決定

来る2015年5月26日～5月30日に米国・サンディエゴにて開催される表記学会の参加助成対象者2名が決定いたしましたのでお知らせします。

10名の委員で構成される選考委員会(選考委員会委員長 宮下政司)による厳正なる選考の結果、参加助成対象者は

安藤良介 名古屋大学大学院教育発達科学研究科
演題名: Sarcomere Length Range In Vastus Intermedius
With Knee Joint Angle Change (学生ポスター発表)

奥島 大 神戸芸術工科大学芸術工学部
演題名: Greater Absolute Deoxygenation In Deep Versus Superficial Quadriceps Muscles At Vo2max During Cycle Ergometry (若手ポスター発表)

の2名に決定いたしました。

参加助成対象者には、日本体力医学会から参加助成金として、120,000円が支給されます。来年度以降も若手研究者・大学院生の皆様は是非挑戦してください。

以上ご報告申し上げます。

2015年4月21日
日本体力医学会渉外委員会委員長
永富良一

第24回日本体力医学会東北地方会開催のご案内

日 時:平成27年6月13日(土)
会 場:いわて県民情報交流センター「アイーナ」
(5階501A・B)
(盛岡市盛岡駅西通1-7-1 TEL019-606-1717
JR盛岡駅西口徒歩5分)

公開シンポジウム (一般公開:無料)

メインテーマ「運動・スポーツによる被災地支援」
コーディネーター 立身政信(岩手大学保健管理センター長)

○基調講演

永富良一(東北大学大学院医工学研究科副研究科長教授)
パネリスト

①福島県

安田俊広(福島大学人間発達文化学類スポーツ・
芸術創造専攻准教授)

②宮城県

山内武巳(石巻専修大学人間学部人間文化学科准教授)

③岩手県

廣澤正紀(岩手県教育委員会スポーツ健康科学担
当主任指導主事)

*公開シンポジウムは、会員以外の一般の方も無料でご参加いただけます。

演題発表について

(1) 一般演題の発表時間は、15分(発表10分、質疑応答5分)の予定です。

(2) 発表機器は液晶プロジェクターとします(スライド不可)。使用パソコンを事務局で準備いたします(OS:Windows7, アプリケーションソフト:Power Point2013)。

発表時のパソコン操作は各自でお願い致します。

Power Pointのファイルは6月8日(月)までに事務局にメールでお送り下さい。事前のご送付が難しい場合は、当日会場にてUSBファイルを保存、受け付けます。メールでお送り下さった方も、念のため当日、USBファイルをお持ち下さい。パソコンに保存したファイルは大会終了後、消去致します。

大会事務局

〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町西徳田2-1-1
岩手医科大学教養教育センター人間科学科体育学分野
小山 薫 気付
第24回日本体力医学会東北地方会事務局
TEL019-651-5111 内線5410 Fax019-698-1961
E-mail: kaoyama@iwate-med.ac.jp

「第10回運動免疫学研究会」・「第32回筋肉の会」の共同開催と 「第32回筋電図の会」のご案内（第1報）

平成27年度「運動免疫学研究会」と「筋肉の会」は共同開催と致します。「筋電図の会」は例年通り単独開催です。いずれも第70回日本体力医学会大会1日目に開催致します。参加にあたってとくに手続きは必要ありません。Openな会です。どうか奮ってご参加頂くと共に、関係各位へお知らせ頂きますようご案内申し上げます。なお、詳細（発表者、演題名、懇親会等）については第2報（体力科学64巻4号，8月1日発行）に掲載する予定です。

日時：平成27年9月18日（金）

第70回日本体力医学会大会1日目
大会プログラム終了後

会場：本大会会場において調整中

参加費：1,000円（事務連絡費，会場費，AV機材借用費等）
研究会の当日，受付にて申し受けます。

懇親会：研究会終了後に「運動免疫学研究会」，「筋肉の会」，「筋電図の会」の合同で行う予定です。

世話人：

「運動免疫学研究会」

奥津光晴（名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科）

〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町山の畑1

TEL：052-872-5837

e-mail：okutsu@nsc.nagoya-cu.ac.jp

「筋肉の会」

山内秀樹

（東京慈恵会医科大学分子生理学講座体力医学研究室）

〒182-8570 東京都調布市国領町8-3-1

TEL：03-3430-8686（2445） FAX：03-3480-4591

e-mail：yamauchi@jikei.ac.jp

「筋電図の会」

小宮山伴与志（千葉大学教育学部保健体育教室）

〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33

TEL：043-290-2621 FAX：043-290-2519

e-mail：komiyama@faculty.chiba-u.jp

第23回日本発汗学会総会のご案内

会 頭：朝比奈正人

（千葉大学大学院医学研究院総合医科学講座）

会 期：平成27年8月28日（金）～29日（土）

会 場：千葉市文化センター

（〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央2-5-1）

プログラム：

1) 基調講演

「心を測る」 塩入俊樹（岐阜大学医学部精神科）

2) 会頭講演

「精神性発汗の中核」

朝比奈正人（千葉大学総合医科学講座）

3) 特別講演

「発汗学の歴史」 田村直俊（埼玉医科大学短期大学）

4) 教育講演

「情動・高次機能障害と精神性発汗」

梅田 聡（慶応大学文学部心理学）

5) シンポジウム

「発汗過多症：手掌足底発汗過多症を中心に（仮題）」

オーガナイザー 藤本智子（東京都立大塚病院皮膚科）

6) ワークショップ

「発汗評価法（仮題）」

オーガナイザー 室田浩之（大阪大学医学部皮膚科）

7) 一般演題

8) 市民公開講座

「熱中症」 松本孝朗（中京大学スポーツ科学部）

9) 機器展示

演題募集：一般演題を募集いたします。

演題登録先：endai@jspr23.org

「演題名」「所属」「著者名（共著者を含む）」「連絡先（住所・電話番号・FAX・メールアドレス）」をご記入のうえ、「抄録本文（テキストまたはMS-Word）800字以内」を添付ファイルで上記アドレスにお送り下さい。演題申し込みは、メールでお願いします。また、採否等もメールでお知らせします。

なお、メールでの登録が困難な場合は総会事務局までご連絡下さい。

総会事務局：

〒260-8670 千葉市中央区玄鼻1-8-1

千葉大学医学研究院神経内科学内

TEL：043-226-2129 FAX：043-226-2160

E-mail：jimukyoku@jspr23.org

総会HP：http://jspr23.org

演題締め切り：平成27年6月18日（木）

応募資格：

演者並びに共同演者は日本発汗学会の会員に限りません。非会員の方は下記の学会事務局まで連絡のうえ、入会の申し込みをお願いいたします。

日本発汗学会事務局：

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学医学部適応生理学分野内

日本発汗学会事務局

TEL：0859-38-6043 FAX：0859-38-6043

E-mail：hakkan-gakkai@med.tottori-u.ac.jp

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団「第27回助成研究発表会」の開催について

○第27回助成研究発表会

- ・開催期日 平成27年7月22日(水)
- ・開催場所 都市センターホテル
(東京都千代田区平河町)
- ・参加料は無料. 参加希望者は財団にファックス・メール等で事前に申込.
- ・詳細については, 財団のウェブサイトをご覧ください.

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団
(<http://www.saltscience.or.jp>)
Fax: 03-3497-5712 Tel: 03-3497-5711
E-mail: saltscience@saltscience.or.jp

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団 「ソルト・サイエンス・シンポジウム2015」の開催について

○ソルト・サイエンス・シンポジウム2015

1. 開催概要

- 1) 開催趣旨 塩に関する学術, その他の情報普及と啓発
- 2) 開催日時 平成27年10月14日(水) 13:00~16:40
- 3) 開催場所 品川区立総合区民会館(きゅりあん)
1階小ホール
- 4) 参加料 無料
参加の申込みはファックスまたはメール等で事前に申込
Fax: 03-3497-5712 Tel: 03-3497-5711
E-mail: saltscience@saltscience.or.jp

2. テーマと講演内容

- 1) テーマ 海水・塩の研究最前線Part 2
- 2) 講演内容
 - (1) 味覚センサーの開発と応用(13:10~14:10)
講演者: 都甲 潔(九州大学大学院主幹教授)
 - (2) 味覚情報伝達に及ぼす酵素の働きと塩味増強評価システムの開発(14:10~15:10)
講演者: 植野洋志(龍谷大学教授)
 - (3) 食塩, カリウムと高血圧(15:30~16:30)
講演者: 藤田敏郎(東京大学名誉教授)

公益財団法人 明治安田厚生事業団 第32回 若手研究者のための健康科学研究助成

研究テーマ

- a. 指定課題: 運動とメンタルヘルス
 - b. 一般課題: 健康増進に寄与する学術研究
- ※いずれか1件のみ応募可

助成の金額

- 総額1,500万円
- a. 指定課題(10件): 1件につき100万円,
 - b. 一般課題(10件): 1件につき50万円

応募資格

- ・健康科学研究に従事し, 修士以上の学位を有する方(医学・歯学の学士などを含む)
- ・40歳未満かつ所属長または指導教官の推薦を受けた方
- ・第31回(前年度)受贈者は除外

応募締切

2015年8月27日(木) 必着

主 催: 公益財団法人 明治安田厚生事業団
後 援: 日本体力医学会
明治安田生命保険相互会社

選考委員:

- 委員長 福永哲夫(鹿屋体育大学学長)
委員 井澤鉄也(同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科長)

- 委員 定本朋子(日本女子体育大学教授)
委員 下光輝一(公益財団法人健康・体力づくり事業財団理事長)
委員 新開省二(東京都健康長寿医療センター研究所研究部長)
委員 永松俊哉(公益財団法人明治安田厚生事業団体力医学研究所所長)
(敬称略・五十音順)

※応募方法:

申請書を研究助成ホームページからダウンロードして作成してください
作成した「エクセル形式のファイル」と「PDF形式に変換したファイル」をセットにして, 事務局宛にメールでお送りください

※申請書ダウンロード:

URL: <http://www.my-zaidan.or.jp/josei/>

※申請書送付: E-mail: josei@my-zaidan.or.jp

※お問合せ:

公益財団法人 明治安田厚生事業団体力医学研究所
研究助成事務局
〒192-0001 東京都八王子市戸町150
TEL 042-691-1163 FAX 042-691-5559

日本医学会だより

JAMS News

2015年5月 No.53
日本医学会

◆第82回日本医学会定例評議員会

平成27年2月18日に開催した。平成26年度年次報告、平成27年度事業計画の報告の他、第29回日本医学会総会2015関西の準備状況の説明があった。平成26年度新規加盟学会は、日本病態栄養学会の1学会が承認され、123学会となった。

この他、第30回日本医学会総会について、役員決定等の報告があった。会期は2019年(平成31年)4月12日(金)~14日(日)、会頭は齋藤英彦(日本医学会幹事/名古屋医療センター名誉院長)、副会頭は現在までに、柵木充明(愛知県医師会長)、松尾清一(次期名古屋大学総長)の2名が、準備委員長は高橋雅英(名古屋大学医学部長)の各氏が決定しており、副会頭は最終的に3~4名になる予定である。

また、日本医学会 日本医学雑誌編集者会議の「日本医学会 医学雑誌編集ガイドライン(案)」が諮られ、了承された。

◆第29回日本医学会総会2015関西

第29回日本医学会総会2015関西は、平成27年4月11日~13日、井村裕夫会頭の下、「健康社会のためのきずなの構築—医学と医療制度の未来を拓く」をテーマに、国立京都国際会館を中心に関西地区で開催された。一般公開展示30万人、学術講演3万人、医学史展、イベント等を含め延べ40万人の参加があった。

◆日本医学会加盟検討委員会

平成26年度第1回日本医学会加盟検討委員会は、平成26年10月22日に開催した。加盟申請の22学会についての審査を慎重に行い、その結果を平成27年1月14日の日本医学会協議会で高久会長に報告した。

◆日本医学会臨床部会運営委員会

臨床部会運営委員会は、日本医学会分科会の10の基本領域学会と2つのSubspecialty学会から構成されている。

運営委員会の組織としては、現在、「専門医制に関する委員会」、「がん領域に関する作業部会」、「『遺伝子・健康・社会』検討委員会」、その下部組織として「『母体血を用いた新しい出生前遺伝学的検査』施設認定・登録部会」の4つの委員会(含部会)がある。

◆日本医学会利益相反委員会

第10回利益相反委員会を、平成26年7月3日に開催した。主な議題は、①日本医学会利益相反委員会委員のCOI自己申告書案、②日本医学会利益相反会議の開催(アンケート調査、時期、テーマなど)、③日本医学会COIマネジメント研修セミナー/第一回研修セミナー報告(82学会95名出席、一般参加者113名)、第二回開催、④COI教育用スライドキットの作製、⑤COIマネジメントへの相談受け入れと指導、⑥医学系研究の倫理指針改定動向の情報提供、⑦日本製薬工業協会並びに全国医学部長病院長会議との連携等、⑧COI申告書の統一化

(例：ICMJJE)，日本医学雑誌編集者組織委員会との連携，⑨日本医学雑誌編集者組織委員会活動報告等について意見交換を行った。

第11回利益相反委員会を，平成26年11月28日に開催した。主な議題は，①アンケート調査結果説明，②日本医学雑誌編集者組織委員会の活動報告等が行われた。同日午後，第5回日本医学会分科会利益相反会議を日本医師会館大講堂にて開催した。

また，平成27年3月に，「日本医学会 医学研究のCOIマネージメントに関するガイドライン 2015（平成27）年3月一部改定」を公表した。

◆日本医学会医学用語管理委員会

平成26年12月19日（金）に平成26年度日本医学会分科会用語委員会を開催した。主な議題は，①疾病，傷害及び死因分類の改正とWHOにおける国際統計分類の検討状況について，②日本医学会医学用語辞典改訂について，③「奇形」という医学用語を考える，④電子カルテ用標準病名マスターについての報告，⑤神経疾患における用語統一に向けての課題。

◆第18回日本医学会公開フォーラム

「前立腺がん」をテーマに，平成27年7月4日（土）13：00～16：00，日本医師会館大講堂において開催する〔組織委員長：野々村祝夫・大阪大学大学院医学系研究科器管制御外科学（泌尿器科）教授〕。市民を対象とした公開フォーラムであり，参加希望者は，郵便はがき，FAX，本会ホームページ（<http://jams.med.or.jp/>）のいずれかの方法で申し込まれたい。参加費無料。プログラムは，下記のとおり。終了後，ホームページにて映像配信する。

1. 序論：前立腺がんとは/野々村祝夫〔大阪大学大学院医学系研究科教授・器管制御外科学（泌尿器科）〕，2. PSA検診の意義/伊藤一人（群馬大学大学院医学系研究科准教授・泌尿器科学），3. 早期がんの治療（手術療法）/原 勲（和歌山県立医科大学教授・泌尿器科），4. 早期が

んの治療（非観血的治療）/佐藤威文（北里大学医学部教授・泌尿器科），5. 前立腺がんの薬物療法/大家基嗣（慶應義塾大学医学部教授・泌尿器科学）

◆第147回日本医学会シンポジウム

今回のシンポジウムは「わが国の高齢者医療をめぐる諸問題」をテーマに，平成27年6月4日（木）13：00～17：00日本医師会館大講堂で開催予定。組織委員：大内尉義，秋下雅弘，辻 哲夫。参加費無料。終了後，ホームページにて映像配信する。

申し込み・詳細は日本医学会ホームページご参照。

◆医学賞・医学研究奨励賞

平成27年度日本医師会医学賞・医学研究奨励賞（旧医学研究助成費）の推薦依頼を日本医師会雑誌の5月号に公示。要項は本会に問い合わせいただきたい。受付期間は，5月15日（金）～7月3日（金）。推薦書は，公示日より日本医師会ホームページ（<http://www.med.or.jp/>）からダウンロードできる。

◆日本医学会への加盟申請

平成27年度の日本医学会への新規加盟申請は，5月15日（金）に公示（日本医師会雑誌等）し，7月31日（金）に締め切る。申請書は，公示日から本会ホームページ（<http://jams.med.or.jp/>）からダウンロードできる。

◆移植関係学会合同委員会

平成4年4月に発足した本委員会は厚労省，日本医師会，関係学会で構成されており，世話を日本医学会長が務めている。

第32回委員会は，平成26年9月19日（金）に厚生労働省9階省議室にて開催した。主な議題は，①脳死した者の身体から摘出された臓器の移植施設について，②臓器移植の適応評価の仕組みについて等であり，終了後，記者会見を行った。

編 集 後 記

新緑のこの時期、入学や入社した若者が新生活のストレスにまさに適応しようとしている時です。若者に限らず、季節が変わる時には、気温や日照時間等に合わせて、我々の身体は環境変化に適応していきます。環境変化以外に、運動トレーニングや各種ストレスに対する、このような身体の適応原理解明は、体力科学の重要な要素といえます。本号においても、主に運動によって生ずる身体の変化に関して、スポーツ医学的な観点、栄養・食事の影響、バイオメカニクス的な観点等からの6編の原著論文及び3編の資料が掲載されました。

先日、国際誌の編集に長年深く携わってこられた先生と学術誌における編集作業に関して意見交換する機会がありました。オンラインジャーナル化が進んでいること、査読期間の短さの問題点、倫理的な配慮に注目が集まっていることなどの今日的な話題について意見を交換しま

した。さらに、できるだけ公平に査読審査するための方法論や採択論文の基準などの、いわゆる学会誌の査読制度に関しての基本的な話題についても意見交換を行うことができました。他人が論文を査読審査する制度である以上、著者・査読者・編集者すべてがいつもハッピーであることは理想でしかないかもしれませんが、しかし、著者と査読・編集者は、できる限り良い論文、ひいては良い雑誌を作るための共同作業のパートナーである、との考えが重要である、との意見では一致しました。本号に掲載された、9編の論文は、そのような共同作業の結果です。投稿していただいた著者の方々、また、査読編集に携わった方々に深く御礼申し上げます。

西 保 岳

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.64, No.3

体 力 科 学 第 64 卷 第 3 号

平成 27 年 5 月 25 日 印 刷

平成 27 年 6 月 1 日 発 行

編集兼発行者	鈴木 政 登
発 行 所	一般社団法人日本体力医学会 〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4階 学会支援機構内 TEL : 03-5981-6015 FAX : 03-5981-6012 E-mail : jspfsm@asas.or.jp
編 集 事 務 局	〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1 鶴岡印刷株式会社内 TEL : 0235-22-3120 FAX : 0235-22-3120 E-mail : hj-tairyoku@turui.co.jp
印 刷 所	〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1 鶴岡印刷株式会社
